

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東
 コード番号 8139 URL http://www.nagahori.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田端 馨 TEL 03-3832-8266
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,346	△0.6	17	△67.9	△18	—	69	—
29年3月期第3四半期	16,449	△1.3	55	17.4	26	△50.5	△53	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 147百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 5百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	4.55	—
29年3月期第3四半期	△3.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	25,909	13,084	50.5	853.20
29年3月期	25,365	13,044	51.4	850.56

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,084百万円 29年3月期 13,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△7.1	180	24.0	120	27.2	100	—	6.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	16,773,376株	29年3月期	16,773,376株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,437,754株	29年3月期	1,437,733株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	15,335,637株	29年3月期3Q	15,335,643株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策により企業収益・雇用情勢の改善・所得環境等緩やかな景気の回復基調が続いております。一方で欧米の不安定な政情、アジア・中東で顕在化する地政学リスク等、先行き不透明な世界経済を反映し、景気の先行きは依然不透明な状況が続き個人消費は力強さに欠ける展開となりました。

ジュエリー業界におきましても、以前より続いておりますインバウンドによる消費と富裕層顧客による消費は堅調でありましたが、一方でボリュームゾーンとなる中間層の消費者は買い控えするという節約志向の流れは依然変わらず、消費の二極化現象は続いております。

この様な状況下、当社グループは第3四半期の最大の山場であるクリスマス商戦に向け、百貨店向け卸売事業での富裕層向けの商品供給を強化し、積極的な営業活動を続けてまいりました。卸売事業につきましては、第2四半期に行った地方拠点機能強化、「量より質の追求」による営業効率改善の効果と、また直営小売事業では、第2四半期までの「選択と集中」として不採算店舗の閉鎖実施による効果と、クリスマス商戦向けの積極的営業活動により、卸売事業、直営小売事業の改善も見られました。またグループ子会社の金地金製品販売も引続き好調に推移いたしました。しかしながらジュエリー業界全体のクリスマス商戦の前年割れ状況もあり、第1四半期における大幅な業績落ち込みをカバーすることができず、厳しい結果になってしまいました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は163億46百万円（前年同期比0.6%減少）、営業利益17百万円（同67.9%減少）、経常損失18百万円（前年同期 経常利益26百万円）となりましたが、固定資産処分益等177百万円を特別利益に、固定資産処分損1百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失53百万円）となりました。

セグメント業績は以下のとおりであります。

宝飾事業の売上高は162億58百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント損失は14百万円（前年同期 セグメント利益27百万円）、貸ビル事業の売上高（外部顧客）は50百万円（前年同期比12.2%増加）、セグメント利益は14百万円（同17.1%減少）、太陽光発電事業の売上高は36百万円（前年同期比1.8%減少）、セグメント利益は17百万円（同11.5%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間末までの結果を踏まえ第4四半期は、富裕層向けマーケットにはより品質の高いダイヤモンド商品の投入や当社グループが取り扱う海外高級ブランドの営業強化を図り、また、中間層向けマーケットにはブランド商品およびアニバーサリー商品等のマーケットに即した差別化された商品を投入してまいります。更に最終消費者向けの展示会開催等も積極的に行い、第1四半期での売上落ち込みのカバーと業績の底上げを図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、259億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ増加5億43百万円となりました。

流動資産は8億30百万円増加し、179億56百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加5億70百万円、受取手形及び売掛金の増加4億85百万円、商品及び製品の減少29百万円等によります。

固定資産は2億86百万円減少し、79億52百万円となりました。これは主に有形固定資産の減少2億53百万円、投資有価証券の増加50百万円等によります。

(負債)

負債は128億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3百万円の増加となりました。

流動負債は107億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億34百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加4億76百万円、短期借入金の増加2億2百万円、賞与引当金の減少53百万円等によります。

固定負債は30百万円減少し、20億32百万円となりました。これは主に長期借入金の減少86百万円、繰延税金負債の増加34百万円等によります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、130億84百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少37百万円、その他有価証券評価差額金の増加77百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想（平成29年5月19日）について、引き続き、経営資源の集中策を進めていく事で、現時点での修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,161,347	1,731,391
受取手形及び売掛金	2,475,934	2,961,747
商品及び製品	12,162,932	12,133,085
仕掛品	245,561	239,224
原材料及び貯蔵品	919,662	734,638
繰延税金資産	48,011	46,599
その他	128,316	125,818
貸倒引当金	△15,456	△16,168
流動資産合計	17,126,309	17,956,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,982,726	1,907,494
機械装置及び運搬具(純額)	267,989	250,306
土地	3,461,417	3,292,869
建設仮勘定	15,789	5,266
その他(純額)	432,661	451,412
有形固定資産合計	6,160,584	5,907,347
無形固定資産	144,708	131,371
投資その他の資産		
投資有価証券	869,180	919,845
長期貸付金	34,765	33,610
繰延税金資産	339	770
その他	1,159,250	1,087,231
貸倒引当金	△129,644	△127,344
投資その他の資産合計	1,933,892	1,914,113
固定資産合計	8,239,185	7,952,833
資産合計	25,365,495	25,909,169

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,333,150	1,810,020
短期借入金	8,013,000	8,215,000
1年内返済予定の長期借入金	177,068	115,504
未払法人税等	137,664	70,825
賞与引当金	109,955	56,504
役員賞与引当金	2,800	2,097
その他	485,153	522,872
流動負債合計	10,258,791	10,792,824
固定負債		
長期借入金	940,400	853,772
退職給付に係る負債	561,322	590,198
役員退職慰労引当金	149,135	159,864
繰延税金負債	45,159	79,489
再評価に係る繰延税金負債	48,841	48,841
その他	317,814	299,881
固定負債合計	2,062,672	2,032,048
負債合計	12,321,464	12,824,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	2,669,468	2,631,938
自己株式	△481,405	△481,411
株主資本合計	13,787,201	13,749,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,153	172,941
土地再評価差額金	△853,614	△853,614
為替換算調整勘定	15,289	15,302
その他の包括利益累計額合計	△743,170	△665,369
純資産合計	13,044,030	13,084,296
負債純資産合計	25,365,495	25,909,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,449,937	16,346,031
売上原価	11,530,135	11,676,746
売上総利益	4,919,801	4,669,284
販売費及び一般管理費	4,864,179	4,651,413
営業利益	55,621	17,871
営業外収益		
受取利息	439	81
受取配当金	20,372	21,174
為替差益	6,721	5,647
その他	23,398	17,281
営業外収益合計	50,931	44,185
営業外費用		
支払利息	65,652	64,541
手形売却損	8,890	7,948
その他	5,723	8,518
営業外費用合計	80,267	81,008
経常利益又は経常損失(△)	26,286	△18,952
特別利益		
投資有価証券売却益	0	4,320
固定資産処分益	4,629	173,357
関係会社株式売却益	24,576	—
特別利益合計	29,205	177,677
特別損失		
固定資産処分損	11,356	1,416
特別退職金	4,450	—
その他	245	—
特別損失合計	16,053	1,416
税金等調整前四半期純利益	39,438	157,308
法人税、住民税及び事業税	89,819	86,506
法人税等調整額	3,164	982
法人税等合計	92,983	87,489
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△53,544	69,819
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△53,544	69,819

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△53,544	69,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88,568	77,788
為替換算調整勘定	△29,202	13
その他の包括利益合計	59,365	77,801
四半期包括利益	5,821	147,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,821	147,620

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル 事業	健康産業 事業	太陽光発電 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,322,220	45,203	45,032	37,480	16,449,937	—	16,449,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,331	—	—	3,331	△3,331	—
計	16,322,220	48,534	45,032	37,480	16,453,268	△3,331	16,449,937
セグメント利益又は損 失(△)	27,361	17,382	△9,341	20,219	55,621	—	55,621

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 健康産業事業につきましては、「選択と集中」の事業方針に従った見直しを行い、第1四半期連結会計期間の平成28年6月をもって直営形態の当該事業を終了廃止しております。

なお、当該施設については第2四半期連結会計期間の平成28年7月より、施設賃貸による貸ビル事業へ転換しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル 事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,258,502	50,716	36,812	16,346,031	—	16,346,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,837	—	4,837	△4,837	—
計	16,258,502	55,554	36,812	16,350,869	△4,837	16,346,031
セグメント利益又は損 失(△)	△14,441	14,408	17,904	17,871	—	17,871

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。